

# 聴覚を含む マルチモーダル知覚情報処理過程と 高精度3次元聴覚ディスプレイの構築

講師

東北大学教授・東北大学電気通信研究所副所長

鈴木 陽一氏

コメンテーター

東北学院大学教養学部教授

櫻井 研三

東北学院大学教養学部准教授

松尾 行雄

情報通信技術の発達にともない、視覚、聴覚、触覚、前庭感覚など種々の感覚により構成された複合情報を伝達することで、きわめて高い臨場感や迫真性を伝えることができる情報コミュニケーションシステムへの期待が高まっている。このようなシステムの実現には、人間の「マルチモーダル感覚情報」処理に関する深い理解が不可欠である。この講演では、まず、講演者がこのような問題意識のもとで行っている聴覚を含むマルチモーダル知覚情報処理過程に関し、音と光の同時判断、話速変換音声の読唇効果への影響、自己運動感覚への音と映像の影響など、いくつかの研究成果を紹介する。また、3次元音空間知覚が、自己運動感覚との相互作用に基づくマルチモーダル情報処理過程と考えられることについて紹介する。ついで、聴取者の運動を考慮したデジタル信号処理を行うことにより高い精度を実現した、3次元聴覚ディスプレイの紹介を行い、さらに、そのシステムを視覚障害者の空間認識能訓練用のエデュテインメントシステムに応用した例の紹介を行う。

日時:2008年10月9日(木)

午後3時30分開演

会場:東北学院大学土樋キャンパス

8号館5F 押川記念ホール

(仙台市青葉区土樋一丁目-3-1、地下鉄「五橋駅」から徒歩5分)

※駐車スペースがございませんので、お車でのご来場はお控えください

入場無料

主催:東北学院大学人間情報学研究所

(東北学院大学泉キャンパス 教養学部内)

TEL/FAX 022-375-1170

E-mail ghi-office@ghi.tohoku-gakuin.ac.jp

http://www.ghi.tohoku-gakuin.ac.jp/~kenkyujyo/



大学内案内図

